

## 第 50 回 いなべエフエム番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和 4 年 10 月 19 日(水) 10 時 00 分～
2. 開催場所 北勢市民会館 和室
3. 出席者 委員総数 6 名 出席委員数 3 名

### 出席委員の氏名

佐藤 貴志 委員長  
岩田 長司 委員  
酒見 敏彦 委員

### 欠席委員の氏名

辻 忠樹 副委員長  
富田 勲 委員  
藤川 里美 委員

### 事務局

理事長 弓矢 孝己  
副理事長 武藤 久夫  
中林 謙太  
浅山 優平

## 4. 審議事項

### 1. 報告事項

### 2. 審議用サンプル番組について

「第 10 回 防災特別番組 備えよう！見直そう！防災！」

## 5. 議事の経過の概要及び結果

### 事項 1.報告事項

事務局より

10 月からの番組編成、担当パーソナリティについて

台風時の緊急割込放送後の緊急放送について(警報発令時)

## 事項 2.審議用サンプル番組について

### 委員

9月1日の防災の日に合わせて、防災啓発の放送ありがとうございます。今回は企業の方と三重県職員の方が話されていて興味深かったです。企業のお話で工場内に4000人もいるのにびっくりしましたが、職場単位と全体訓練を行い濃密に、防災訓練をしている。なおかつ、防災に関しては非常に大事な事で当事者意識を持つという事と、いざという時に素早く対応する勉強をされているとの事でした。夜間の訓練も行われているという事で、実際どのように訓練されているのか想像しながら聴いていました。対応力を養うために夜間訓練等をやってみると色々と課題が見つかる。やってみて分かった部分、課題が今後の事業所の防災という観点で勉強になっているのだと思います。県の方は防災に必要なのが、自助と共助と公助の部分という事を話されていました。自助の取り組みとして、地震体験車や、家族での防災会議を持つことや持ち出し品の確認や避難経路について家族での確認を、との話でした。日頃から災害の対策知識、備蓄品等の確認は非常に大事。家族や地域、事業所での取り組みは重要なかなと感じました。全体的に良い内容で、防災の担当者として良い啓発をして頂いたと思います。うまくまとめられていた。

### 委員

第1部は直属部下の出演になるのですが、防災担当を去年まで私もやっていました。5年前に塗装工場の火災があり、リアル防災体験をした。従業員は誰が出勤しているか分かっているので人数確認の集計ができたが、車にて車両入門書をもって中に入っている方は何人中にいるかわからない。歩いてくる人は、面会票を書いてIDを渡し、複写式の紙を渡しているのだから分かる。車で工場内に入っている人は分からないというのが現状です。夜間訓練は今年もありました。職場の要望で、電気を全部消してやりましたが、誘導灯は20m先まで見えないとだめだが見えないのがあったり、矢印をつけないとだめ等の課題が見つかった。避難経路は決まっているが、その避難経路が使えない場合も考えなければならない。全て、訓練していないことは実際にはできないと思います。来月にも全社一斉の防災訓練をやる予定です。訓練の際は、工場の情報を集め、集めた情報を本社で仕分けします。改めて防災意識は常に持っていないといけない。市内の企業では阪神大震災、東日本大震災を経験している工場もあるので、そういった方の意見もラジオ聴けるといい。いなべ市は津波が来ないが、北勢地域沿岸部の方はいなべに逃げてくる人がいると思うのですが、その場合の対応は市としてはどうお考えですか？

### 委員

基本的には協議を持って対応します。

委員

いなべ市のハザードマップで被災される見通しの方の、3日分の食料等の備蓄はあると聞いていますが、その地域から逃げてきた方の備蓄等はあるのか心配になりました。弊社も市内の一部地域の方の備蓄品は弊社でも用意している。避難した人が逃げてきたらどうするのだろうと考えました。ローリングストックは工場ではやっているが、自宅ではやっていない人が多いと思うので、すべきだと思う。県の防災大賞があると聞いたので、企業で大賞をとられている所があれば、一度見学したいと思いました。

委員

11月に全社で防災訓練というと何万人単位ですよ？

委員

全社なので社員18000人を対象とします。安否確認はスマホやパソコンで、できるのですが、先程もお話しましたが、社員じゃない方への対応が難しい。

委員

通知せずに訓練を行うんですよ？

委員

そうです。従業員には知らせません。

委員

ちょうど台風もありましたし、防災という観点で非常タイムリーな番組での中身の濃い話だったなと感じました。

事務局

非公開訓練すごく興味がある。防災訓練は日時を指定して通常の訓練をするのだけど非公開にし、課題が見つかるというのはいいなと感じました。エリアの地域との連携も取りながら、というのがすごい。いなべ市の対策も聴ければ、番組がもっと身近に感じられる。非常に内容は濃いので、そこにいなべ市の対策が入ってくると良い。

委員

市の防災課や自治会長さんに防災訓練の時に来て参加してもらっている。

そういう方達の話も聴けますよね。

委員

番組の放送時間は？

事務局

30分番組です。

今まで10回放送しており、以前はいなべ市防災課の方にご出演頂き、お話しして頂いていました。今回は初めて企業の方や三重県の方に来て頂きました。

委員

どういう間隔で放送しているのですか？

事務局

現在は年1回の放送ですが、以前は年2回放送していました。

委員

企業は絶対に防災訓練はやっているの、市内の企業さんにお話し頂ければいいですね。

事務局

ずっといなべ市防災課の方にお話しを伺っていたので、今後は内容も考えていきたい。

委員

ちなみに、地震が起きた想定で防災訓練をやったときは、工場近くの道が通れるかも確認している。

愛知県の三河地方は企業が全部の道を企業で確認する。

市役所も確認すると思うので、企業の情報と市役所の情報をくっつければ網羅できるのではないかな。そういった情報も集約してラジオで流せるといいですね。

事務局

情報を頂くということは可能ですか？

委員

どうやって情報を繋ぐかが問題ですね。

事務局

電子のマップですか？通常のマップですか？

委員

警備員が機器を持っていきチェックポイントを確認し、本部に連絡してもらおう。

本部では通常の地図に印を打つ作業をしています。

事務局

以前アプリを見せてもらった記憶があるのですが。

委員

弊社オリジナルのアプリです。

車についているシステムを利用しているアプリですが、地震がくると車の動きも止まってしまうので、どうなのでしょう。通行できない場所等の確認は、市はどのように確認するのですか？

委員

担当課が直接現地を視察しに行きます。

委員

市役所と企業が連携できると網羅できますよね。

市内企業が協力できれば、ある程度把握できますよね。

## 6. 審議事項に対してとった措置

次の番組制作会議にて検討予定

## 7. 公表の方法

自社ホームページ

## 8. その他

事務局

第2部の所で市外北勢地域の沿岸部で津波が来た際にいなべ市に避難してくるのではないかとありましたが、実際に津波が起きた想定で訓練があった。当時、有事の際に避難してきたときの受け入れ態勢は整っているかと聞いた時に、検討中という回答でした。

我々の地域は津波が無い地域ですので、そういったコミュニティFMとしての役割を企業や行政と連携をとりながら、役割を全うしていきたいと考えます。

委員

市内の一部企業さんは市と防災協定を結んでいる。

弊社も別企業様とは防災協定を結んでいて、弊社内のガソリンスタンドを使っていただけるような契約になっている。市外から来た方は、小学校等へ避難できるように想定できればいいですね。

#### 委員

規模がどれくらいになるかが分かりませんが、庁舎近くの緊急避難場所がありますので、そちらも避難場所として使っていただけます。

#### 事務局

いなべエフエムがある場所も避難場所として、訓練の際、避難をされていました。連携というのは非常に大事ですね。

以上